

近藤製粉株式会社より 加工用原料米の状況について

国産うるち米は、加工用米、特定米穀、新規需要米等がありますが、弊社等穀粉メーカーが使用する加工用米は、作付面積が年々減少しております。その理由の一つは農家が新規需要米での飼料用として、手間の掛からない米にシフトしているためです。新規需要米の助成金は一反(10アール)当り国から8万円交付されます。

更に面積で契約のため、収穫量は平均的収穫量の80%を超えれば補助金交付が認められる事も要因です。

この新規需要米は従来の使用用途には使用が認められていませんので、物量も減り価格も大幅に上がった加工用米を使用している穀粉メーカー、米菓メーカー、味噌メーカーなどは大変苦慮しています。更に今年は特定米穀(くず米)の発生率が少なく例年の50%となったため、原料米全体が値上がりしています。

外国産うるち米(政府ミニマムアクセス米:SBSを含む指定商社により、入札制度で購入)は国内の特定米穀(くず米)の価格上昇が影響し落札価格が値上がりしております。

輸入米調製品も現地価格の上昇と円安の影響から価格が上昇しています。

アジア諸国では米が主食となっていますが、特に人口増加率の高い地域で異変が起きています。中国は年間1億4千万トンの米を消費しています。今までは自国の生産で足りていましたが、昨年アメリカより260万トン輸入しております。アジア諸国の動向によっては、世界の米の需給バランスが大きく変わってくる事が考えられます。

日本の年間800万トンの米が自給自足出来ない場合に他の穀物も含めて輸入に頼れるのか懸念されます。また国内の農家(米生産者)は平均年齢が60歳後半で兼業農家が過半数を占め後継者も少ない状態であり、今後の農業政策が問われております。

弊社としましては、皆様に安全安心な原料を確保しておりますので、何なりとお問い合わせ願えれば幸いです。

近藤製粉株式会社 取り扱い品目は下記の通りです。

和菓子用 上新粉、味苺粉、白玉粉、小麦代替用米粉、米澱粉等。

パン洋菓子、食品素材の澱粉代替など、色々な用途が広がっております。国内外の素材も用意しております。